

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年9月1日 No. 32

新たなジョブローテーション

生活・家庭状況
キャリアプラン
労使の確認事項

無視?

本宮地
交団急
大宮

シリーズ①

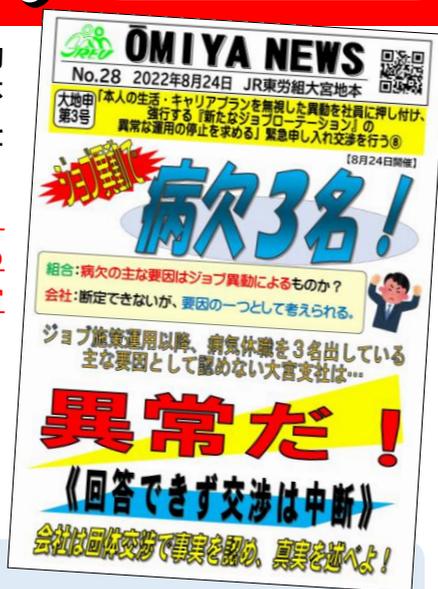
2022年8月31日、JR東日本は、ワンマンの導入や保守作業のデジタル化で約4千人の人員削減を行い、鉄道の必要な人員3万4千人を3万人未満に減らし、不動産や流通などの成長分野へ人を回す「**人材の再配置**」を行う方針であることが報道されました。この人材再配置が一方的に行われたらどうなるのでしょうか？

現在、新たなジョブローテーションが行われていますが、大宮支社では「**生活・家庭状況**」「**キャリアプラン**」「**労使の確認事項**」が無視されたと評価できる**人事異動が多数行われ、大宮地本は「新たなジョブローテーション」における労使の確認事項の履行を求め緊急団交(申3号)を行いました。**

大宮地本が履行を求めた労使確認は以下の通りです。

「新たなジョブローテーション」 JR東労組が団体交渉で確認した26項目

新たなジョブローテーションの実施により、今までの終身雇用や年功賃金のあり方、雇用契約を変更するものではない／新たなジョブローテーションの実施において、社員が多様な経験を積むことにより安全・サービスレベルを向上させていく／出向期間は労働協約を遵守して原則3年以内／新たな出向や転籍はない。出向をことさら推奨するものではない／社員の希望は毎年秋に開催している自己申告書による面談で把握していくことが基本／**自己申告書は、個人が自分の意思で自らの描くキャリアを記入するもの／面談以外でも日々のコミュニケーションを通じてキャリアプランの把握をしていく／施策の趣旨である社員の夢や希望に近づけられるよう日々のコミュニケーションを図り、丁寧な面談を行える体制をつくる考えである**／駅、車掌、運転士の順に養成を行ってきた実績は、運転士になるまでにお客さま対応、運転法規の基本習得、駅・車掌・運転士の役割を理解した上で輸送障害対応が可能だった／車掌を経ずに運転士になる社員も今後発生するが、車掌が身につけてきたスキルや役割等の位置づけは変わらない／今後も駅、車掌、運転士の順に養成する社員もいる／**駅を極める、車掌を極める、運転士を極めるというキャリアも希望として否定しない**／元職場に戻ることは、様々なケースの一つとして可能性がある。元の箇所で経験を活かすこともキャリアの一つ／職場や担務が変わった時点で在籍年数はリセットになる／2020年4月1日の施策スタート時点で、同一箇所・同一担務に10年以上いる社員が一斉に異動するわけではない／育児や介護等の個々の事情に配慮し、10年を超える場合はある／異動する場合は、採用エリアを基本とする／**本人が描いたキャリアの実現に向けて、任用の基準に留まらず社員の希望を把握する**／労働組合の所属の有無で異動・担務変更を行うものではない／**安全文化の創造と技術継承・技能伝承のためにも職場の特状に考慮した指導担当の配置と人材育成を行う。指導担当の育成の仕方、土台は変わらない**／指導担当に求められる資質はこれまでと変わるものではない／施策の目的を実現するためにもフォアマン層の人材育成は重要である／適性検査については業務に必要な都度取得するものである／ライフサイクルの深度化によって2020年4月1日時点で駅に在籍している組合員についてはこれまでの取り扱いとする／社員の持つ様々な能力の発揮には、安全・働きがいの観点からも職場環境の充実が必要／必要に応じた設備は整備していく。「一般事業主行動計画」において、すべての職場で女性社員が活躍できる環境を整えることを目標としている



東労組との労使確認が遵守されているか点検しよう!